



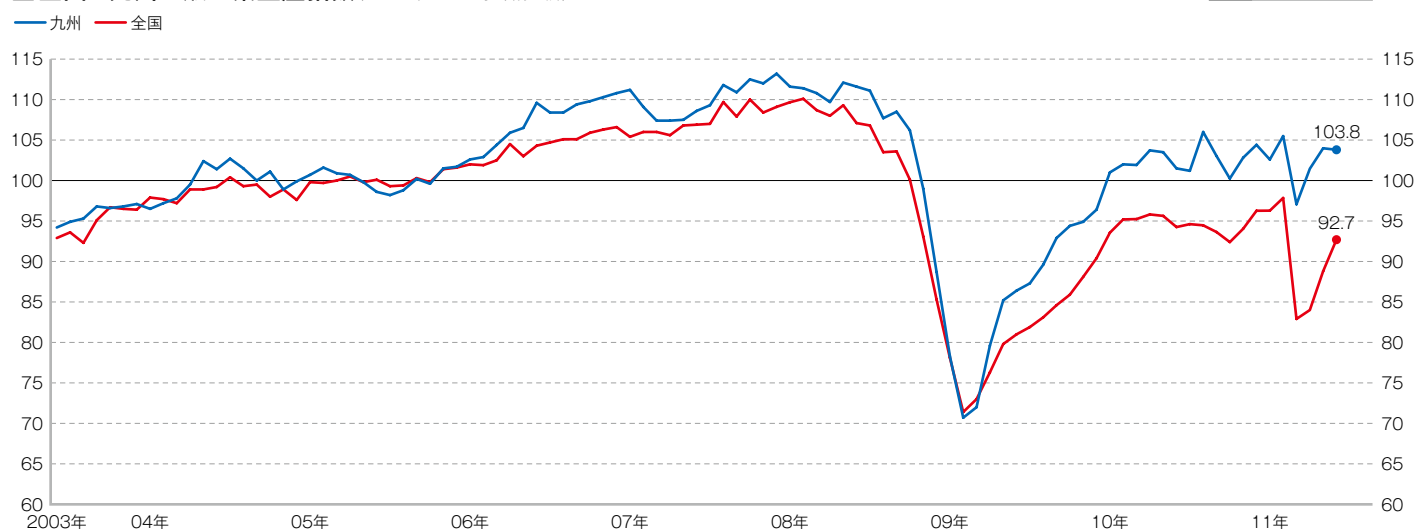
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 持ち直しの動きが継続している

2011年6月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.2%低下の103.8となり、前月実績をわずかに下回りました。部品供給体制の復旧を背景として、自動車の生産が回復している輸送機械が前月に引き続き上昇する等、持ち直しの動きが継続していますが、一般機械や食料品等、一部業種では調整も見られました。

■全国と九州の鉱工業生産指数 (2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

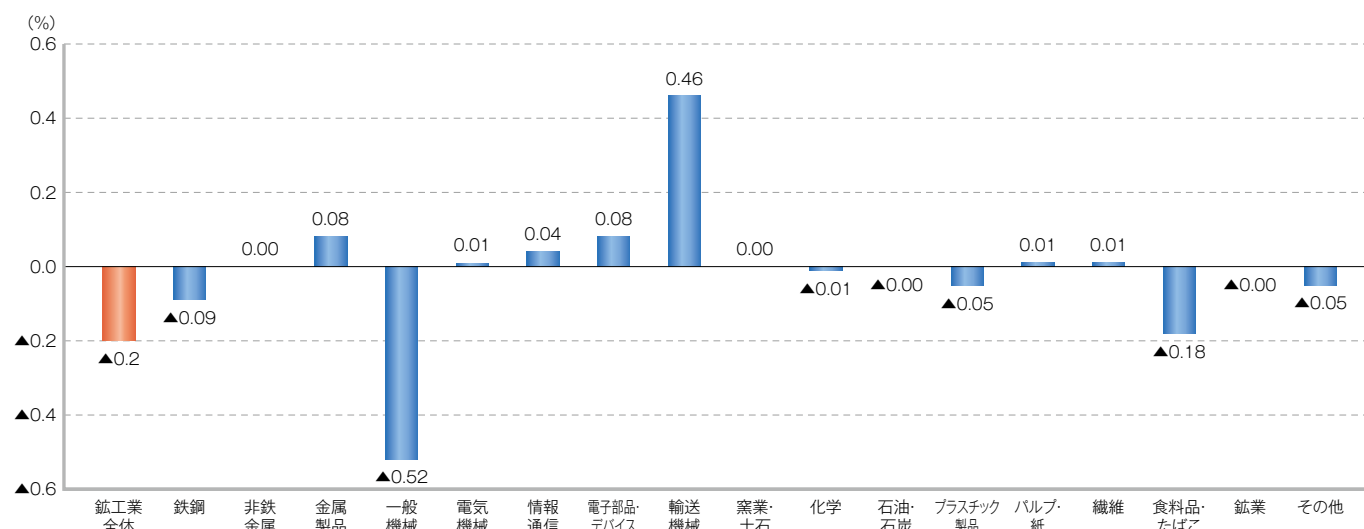


業種別動向 | 業種別にまちまちの動きの中、輸送機械の回復が継続

業種別の寄与度をみると、半導体製造装置の生産が減少した一般機械や、震災の代替生産が一段落した食料品・たばこ等がマイナスに寄与した一方、自動車の生産回復が進む輸送機械は2ヵ月連続で上昇した他、家電向け半導体製品の在庫積み上げの動きが見られた電子部品・デバイスや、建材用鉄骨の増産で金属製品等がプラスに寄与しました。

■業種別寄与度 (鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 震災の影響が緩和し、生産活動は回復

生産活動については、部品供給体制の復旧が進み自動車等の輸送機械が大幅に上昇した他、鉄鋼、一般機械も好調で、回復の動きが見られます。

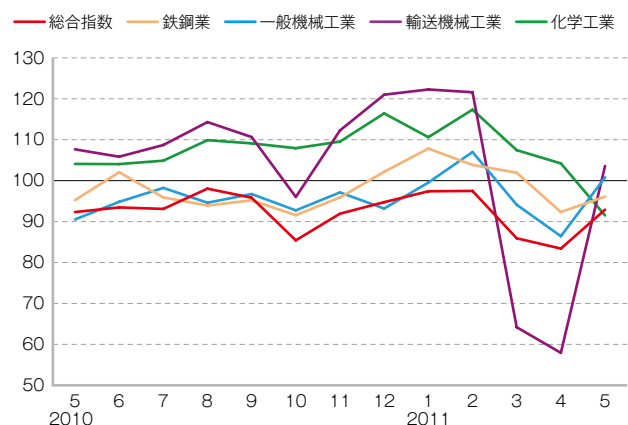
消費面では、大型小売店販売額は、駆け込み需要のあった地デジ対応商品や暑さ対策商品等が好調で、前年を上回りました。住宅建設については、住宅取得関連の優遇制度の効果等により持家、分譲ともに好調で、貸家も増加したことから、前年実績を上回りました。

1. 生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりの上昇

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は92.9となり、前月比で11.4%上昇しました。

主要業種では、化学工業が低下したものの、部品供給体制の復旧が進んだことで自動車等の輸送機械が大幅に上昇した他、新興国向け建設機械の生産が増加した一般機械も好調で、総合指数は3ヵ月ぶりの上昇となりました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



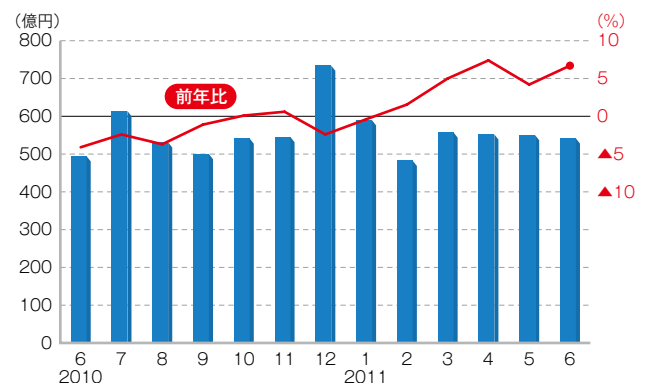
2. 大型小売店 | 5ヵ月連続で前年を上回る

6月の大型小売店販売額は、前年同月比6.7%増の541億円と、5ヵ月連続で前年を上回りました。

新店効果に加え、扇風機、夏物衣料等の暑さ対策商品や地デジ対応商品等の家電に動きが見られた他、お中元ギフトの早期受注等により食料品も好調に推移しました。

■ 福岡県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



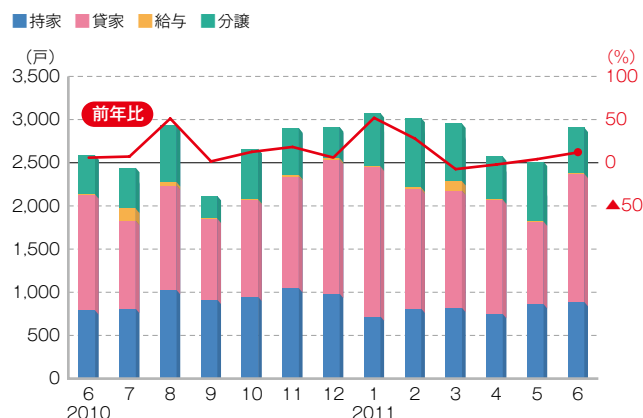
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.1%増の2,897戸と2ヵ月連続で前年を上回りました。

住宅取得関連の優遇制度の効果等から持家、分譲ともに堅調に推移したことに加え、住宅エコポイント制度の期間短縮を背景に貸家で着工を前倒す動きが相次ぎました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



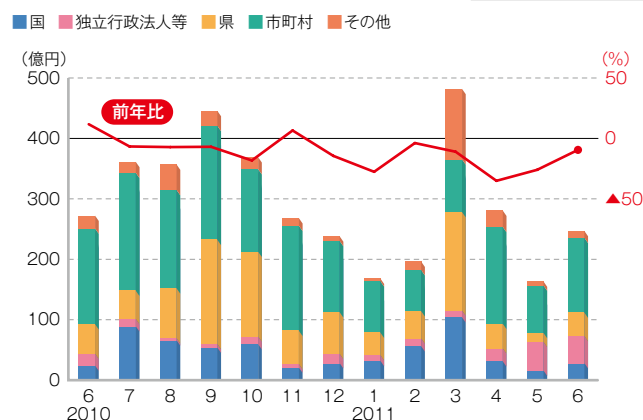
4.公共工事 | 請負金額は7ヵ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.8%減の587件、金額は同9.3%減の247億円となり、請負金額は7ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、高速道路関連の工事で「独立行政法人」が増加しましたが、「県」や「市町村」等が前年同月と比べ減少しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



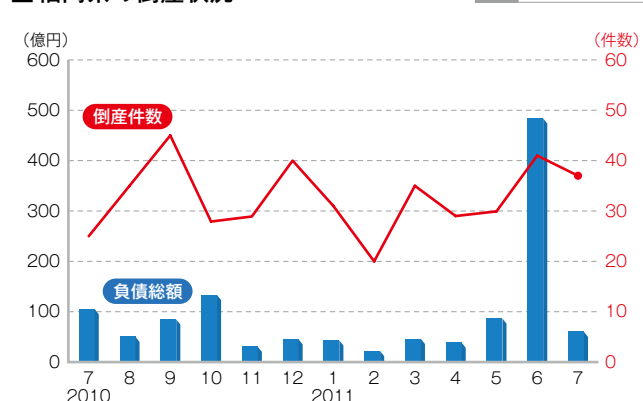
5.企業倒産 | 小口の倒産が増加

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比48.0%増の37件、負債総額は同42.6%減の60億円となりました。

不動産、遊技場関連で比較的大型の倒産があった他は、小口の倒産が相次ぎました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動では、輸送機械等が低下したものの、半導体製造装置やフラットパネルディスプレイ製造装置の一般機械等が好調に推移し、総合指数は2ヵ月連続で上昇する等、持ち直しの動きは続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、ショッピングセンターが年初に相次ぎ閉店した影響が大きく、前年を下回る状況が続いています。住宅建設は、在庫調整の一巡により市況が改善しつつある分譲マンションが堅調だったことに加え、貸家が増加したことで、前年実績を上回りました。

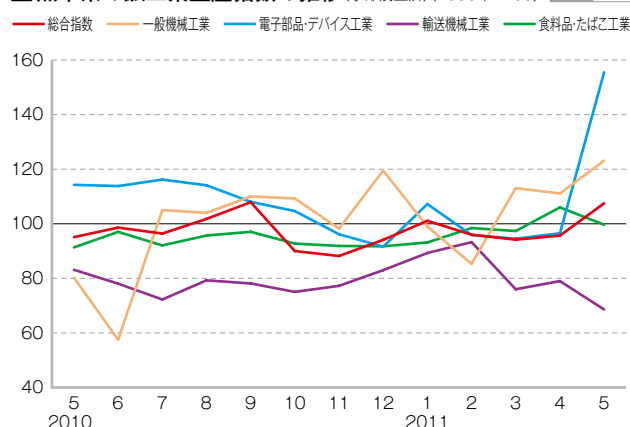
1. 生産活動 | 総合指数は2ヵ月連続で上昇

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は107.5となり、前月比で12.0%上昇しました。

主要業種では、輸送機械等が低下したものの、半導体製造装置やフラットパネルディスプレイ製造装置が好調な一般機械や電子部品・デバイス(※)が上昇し、総合指数は前月に続き上昇しました。

(※)2011年5月の電子部品・デバイスは、経済産業省の統計調査において集積回路の一部に報告内容の修正があった為、数値が著しく大きくなっています。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 熊本県

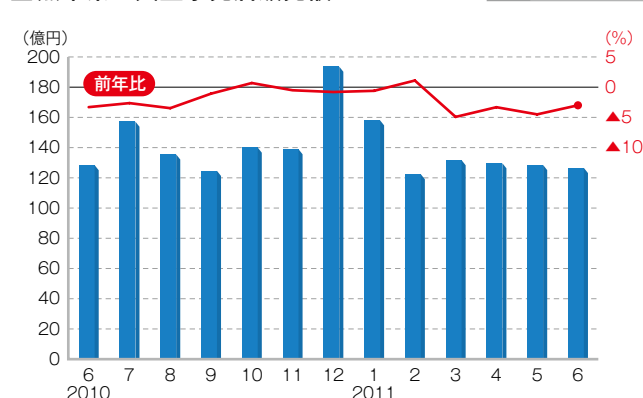


2. 大型小売店 | 4ヵ月連続で前年を下回る

6月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%減の127億円と、4ヵ月連続で前年を下回りました。

大型ショッピングセンターが1月、2月に相次いで閉店した影響が大きく、前年を下回る状況が続いています。

■ 熊本県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局



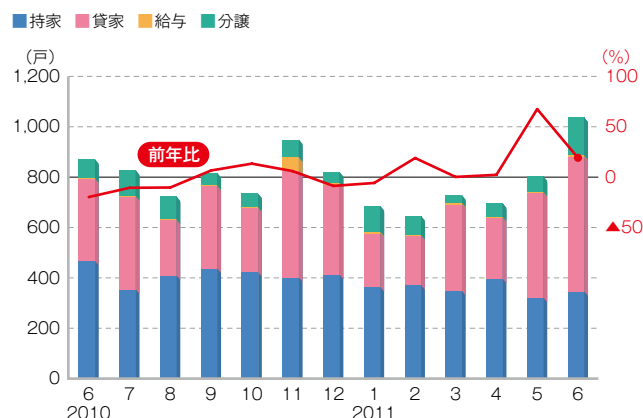
3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比19.2%増の1,038戸と3カ月連続で前年を上回りました。

持家が前年実績を下回ったものの、在庫調整の一巡により市況が改善しつつある分譲マンションの着工が増加したことに加え、貸家も前月に引き続き好調でした。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



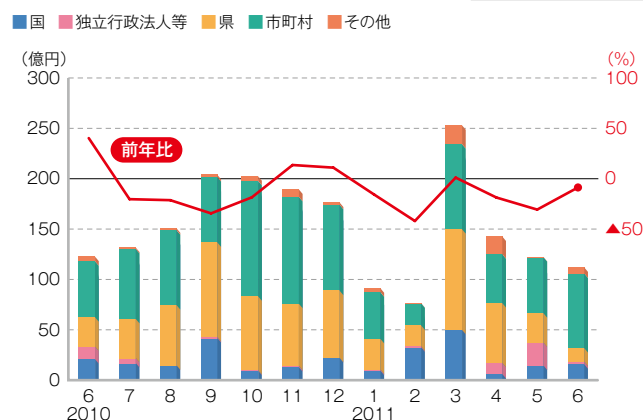
4.公共工事 | 請負金額は3カ月連続で前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比30.1%減の332件、金額が同8.7%減の112億円となり、請負金額は3カ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、公立病院改築のあった「市町村」の他は大型工事が少なく、「国」や「独立行政法人」「県」が前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



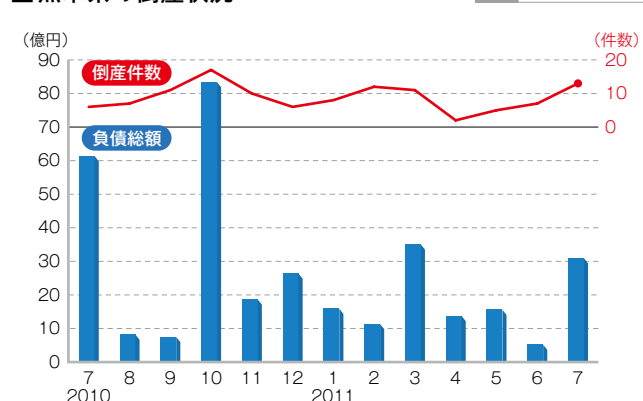
5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比倍増の13件、負債総額は同49.6%減の31億円となりました。

前月比では、倒産件数、負債総額ともに増加しました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

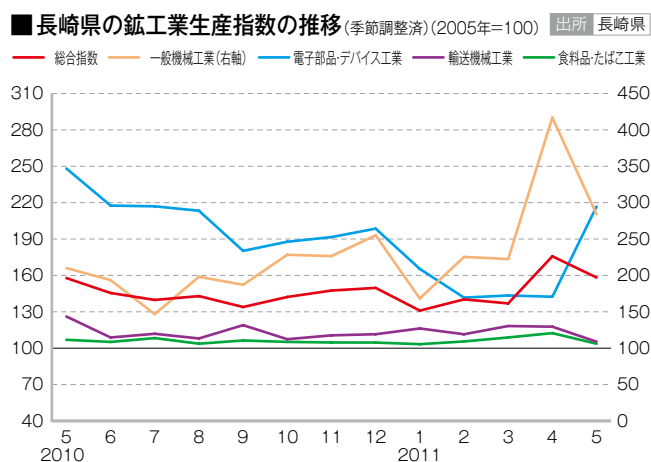
生産活動では、震災被災地の代替生産により半導体集積回路等が好調な電子部品が大幅に上昇した他、一般機械も前月から鈍化はしたものの依然として高操業を維持しており、持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、一部老舗百貨店の閉店セールが好調だったこともあり、4ヵ月ぶりに前年を上回りました。住宅建設については、持家と分譲が前年と同水準を維持したことに加え、貸家が好調で前年実績を上回りました。

1.生産活動 | 総合指数は低下するも高水準を維持

5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は158.3となり、前月比マイナス9.7%低下しました。

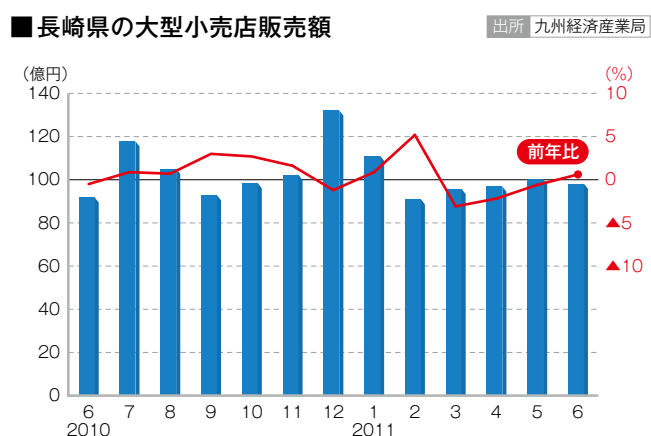
主要業種では、震災被災地の代替生産により半導体集積回路等が好調な電子部品・デバイスが大幅に上昇した他、前月の発電所向けタービン等の特需が一段落した一般機械も依然高操業を維持しており、総合指数は前月から低下するも高水準を維持しています。



2.大型小売店 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

6月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6%増の98億円と、4ヵ月ぶりに前年を上回りました。

スーパーは前年を小幅に下回りましたが、百貨店は一部老舗デパートの閉店セールにより前年を大幅に上回った他、商品別では主力の衣料品や地デジ対応商品等に動きが見られました。





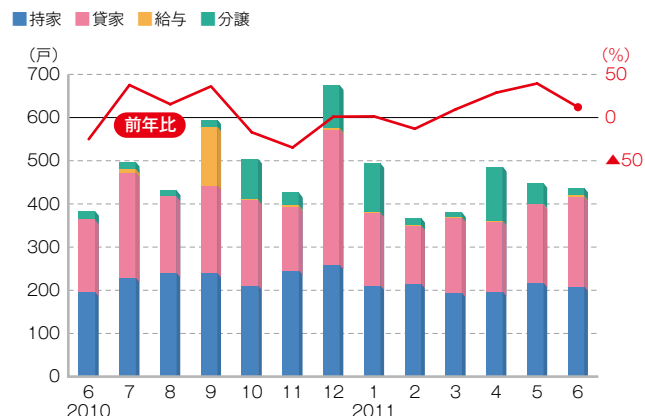
3.住宅建設 | 4ヵ月連続で前年を上回る

6月の新設住宅着工戸数は、前年同月比14.1%増の437戸と4ヵ月連続で前年を上回りました。

住宅取得関連の優遇制度の効果等から持家と分譲が前年実績並みを維持したことに加え、貸家の着工も堅調でした。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



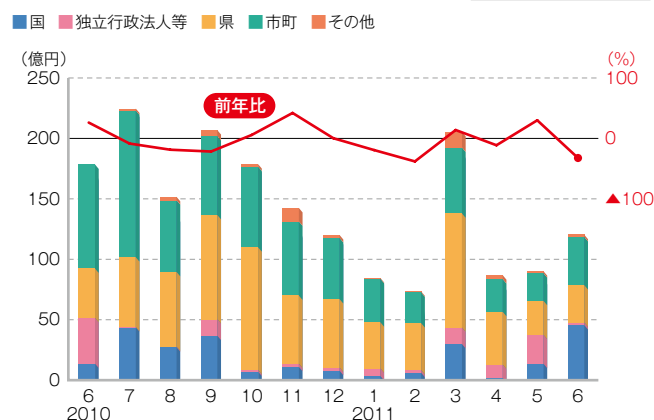
4.公共工事 | 件数、請負金額ともに前年を下回る

6月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比21.6%減の302件、金額が同32.4%減の121億円と、件数、請負金額ともに前年を下回りました。

防衛関連施設の大型工事のあった「国」が増加したものの、前年同月に大型工事のあった「独立行政法人」が反動減となり、また、「県」「市町」も前年を下回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

7月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比14.3%増の8件、負債総額は、同42.8%増の6億円となりました。

小口の倒産が相次ぎ、前月比では、倒産件数、負債総額ともに増加しました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

